



笛吹社協だより かけはし

檜峰デイサービスセンター

上黒駒地区と共に11年間 長い間お世話になりました！



檜峰デイサービス 閉所のごあいさつ

檜峰デイサービスは、平成16年に御坂町上黒駒の、以前は檜峰保育所であった場所に設立されました。定員15名、職員5名の小規模デイサービスでした。

檜峰保育所時代の建物、園庭、遊具が当時のまま残っており、春には桜、梅雨時には紫陽花が咲き、地域の方々や利用者様にとっては、子どもや孫が通園した思い出深い場所でもありました。

その園庭で地域の方々やボランティアの方々が、野菜、花などを作ってください、時には利用者様が野菜作りの先生となり園芸を楽しみました。秋には地域の方々をお招きした収穫祭を行い、皆様の優しさや温かさを感じる、地域の交流の場でもありました。

小規模である事もあり、職員も利用者様により深く関わらせていただく事が出来たと感じております。

しかし、建物の老朽化などにより、昨年12月に閉鎖となりました。

長い間ご愛顧いただいた利用者様、ご家族様、地域の方々、ボランティアの方々等に感謝を申し上げます。

CONTENTS ~ 目次 ~

- P2 ▶▶ ● 第8回笛吹市社会福祉大会のご案内
- P3 ▶▶ ● 地域福祉活動計画づくり参加者募集のご案内
- 笛吹市市民活動・ボランティアセンターオープンのご案内
- 赤い羽根共同募金「ふれあい広場」事業変更のお知らせ
- 平成28年度 地域福祉推進事業助成金のご案内
- P4 P5 ▶▶ ● **特集** 障がいのある人が自立した生活を目指し相談できるトコロ
- P6 ▶▶ ● 第7回大会笛吹市社会福祉大会 ボランティア功労賞・奨励賞受賞者の紹介
- P7 ▶▶ ● 平成27年度 介護予防事業(やってみるじゃん) 協力員養成講座のご案内
- 善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶▶ ● 「ふえふき通信」

発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

ホームページ/ <http://www.fuefuki-shakyo.or.jp> メール/ webmaster@fuefuki-shakyo.or.jp

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘

第8回

笛吹市社会福祉大会

～ 支え合う地域づくり ～

平成28年2月28日(日) 13時～16時

いちのみや桃の里ふれあい文化館

第1部

13:00～14:00 記念式典 表彰状授与、感謝状贈呈

- ・社会福祉活動功労賞
- ・ボランティア活動功労賞
- ・ボランティア活動奨励賞
- ・職員感謝状
- ・金品感謝状

第7回大会の様子

第2部

14:00～16:00 基調講演・シンポジウム

住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるために、 今、何ができるのか？

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるよう地域全体で高齢者を支えるとともに、高齢者自身も自らのもつ能力を最大限に活かして要介護状態となることを予防するための仕組みづくりとして、介護保険法が改正され、**介護予防・日常生活支援総合事業**が創設されました。

笛吹市では平成29年4月より総合事業が段階的に実施される予定です。そこで、高齢者福祉の第一人者である市川一宏氏の基調講演のもと総合事業の理解を深め、さらに、介護事業所、NPO、民協、行政、社協において第一線で活躍中の方々をシンポジストに迎え、それぞれが現在抱えている不安や課題を共有し、支え合う地域づくりのために今、何ができるのかを会場の皆様と一緒に考え、今後の地域づくりの方向性を見出します。

講師・コーディネーター

市川 一宏 氏

ルーテル学院大学 学事顧問・教授

地域福祉・高齢者福祉の第一人者。

先生には、総合事業に関する全国各地の先進事例から様々な「地域の福祉力」を紹介していただき、笛吹市(事業者・NPO・住民・市・社協)が総合事業に向けて何をしていけば良いのかについてヒントをいただきます。

シンポジスト

長坂 和樹 氏 リハビリテーション若彦の郷 管理者

中村 悦子 氏 NPO法人地域福祉サポート笛吹 所長

雨宮美枝子 氏 笛吹市民生委員児童委員協議会 会長

成島 春人 氏 笛吹市高齢福祉課 課長

初鹿 仁美 氏 笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課 課長

●手話通訳・託児サービスがあります

【お問合せ先】

第8回 笛吹市社会福祉大会 実行委員会 (事務局 笛吹市社会福祉協議会)

〒406-0822 笛吹市八代町南 917 TEL: 055-265-5182 / FAX: 055-265-5183

主催：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

後援：山梨県社会福祉協議会 笛吹市 山梨県共同募金会 山梨県社会福祉士会 山梨県精神保健福祉士協会 山梨県介護支援専門員協会 山梨県介護福祉士会 山梨県医療社会事業協会 山梨県看護協会 山梨県ボランティア協会 笛吹市議会 笛吹市医師会 笛吹市民生委員児童委員協議会 笛吹市介護保険事業者連絡会 笛吹市連合区長会 笛吹市老人クラブ連合会 笛吹市ボランティア連絡会 笛吹市観光物産連盟 笛吹市体育協会 笛吹市ゴルフ連盟 笛吹青年会議所 山梨県立大学 甲斐清和高等学校 山梨日日新聞・山梨放送 NHK甲府放送局 朝日新聞甲府総局 テレビ山梨 エフエム富士

住民のみなさんの想い・声をかたちにする地域づくり

第3次笛吹市地域福祉活動計画づくりに参加しませんか？

策定メンバー募集!!

地域福祉活動計画とは、一人ひとりが自分の住む地域について考え、「この町で暮らしてよかった」と思える地域を目指して、地域住民のみなさんとともに、地域団体、ボランティアや社協、各関係機関が協働して、地域住民が抱える生活課題や地域課題を地域福祉の推進のために解決する仕組みをつくる具体的な行動計画です。

募集人員：5人 *応募者多数の場合は、総合的に考慮して選考し、決定します。
募集対象：笛吹市民で地域福祉活動計画策定に意欲的に参加することが可能な方
募集期間：～平成28年2月29日まで
任 期：委嘱の日から平成29年3月31日まで
会議の開催：月1回程度（平日の午後2時間程度）
役割・活動：「第3次笛吹市地域福祉活動計画」策定作業にあたり住民の皆さまの声を計画に反映していただきます。
お申込み・お問合せ：社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課（本所）担当：坂本 TEL 055-265-5182



笛吹市市民活動・ボランティアセンター 1月29日(金)オープン!

これまでボランティアの皆さまが中心にセンター設置に向け、検討、県内外視察研修、行政との折衝を重ねてきました。そうした取り組みの成果もあり、平成28年1月29日、笛吹市役所八代分庁舎内にセンターが開所されます。センター名称のとおり、ボランティアや市民活動団体の皆さまが利用したり、ボランティアを必要とされる市民の相談も受け付けます。また、活動やイベントの情報発信の場であったり、新しい活動、しくみや仲間づくりも検討していく拠点にもなります。

そして、運営は市民から構成される運営委員会が担います。ぜひ、皆さまも来所いただき、どんどんご活用願います!(同内容が、よっちゃばる通信4ページに掲載されています。)



場 所 笛吹市役所八代分庁舎内
(八代町南917)
電 話 055-234-5100
(ボランティアセンター直通)
F A X 055-234-5130

赤い羽根共同募金「ふれあい広場」事業変更のお知らせ

これまで赤い羽根共同募金の「ふれあい広場」事業として、公園遊具の整備補修に充てられていた助成事業が、平成28年度の申請から「集いの場づくり」事業に変更になります。より、地域の福祉推進につながるよう、助成対象範囲を広範囲に変更しました。

- | | |
|--|--|
| 【目的】
地域住民から集めさせていただいた共同募金を、住民が集う施設等の器具・備品の購入や設置等に配分することで、環境が整備され、地域住民が集いやすく、地域交流がますます活発になることを目的とします | 【申請・実施時期】
4月末までに各行政区より各地域事務所に申請書・見積書を提出し、翌年度実施とする |
| 【対象者】 笛吹市行政区 | 【内容】 公民館や公園などの物品・備品購入、設置などによる集いの場の環境づくり |
| 【お問合せ】 各地域事務所 | 【助成】 1件 70,000円 (上限)
※ただし、審査に基づき助成対象は5件程度に絞らせていただきます。 |

平成28年度 地域福祉推進事業助成金のご案内

※この事業は皆様から寄せられた社協会費を財源としています。

この助成金は、平成28年4月1日～平成29年2月28日に行われる

- 1. 地域のネットワークづくり事業
 - 2. ボランティア活動を強化する事業
 - 3. 防災・減災への取り組み事業
- を対象として、行政区等に対し、審査のうえ助成を行います。

【申請期間】
平成28年2月10日までに最寄りの地域事務所にて申請書類を受け付けます。
【助成金額について】
1件 上限5万円
(全体の上限を、市全体で寄せられた社協会費の30%とし、申請数で割りますので申請多数の場合5万以下となる場合があります。)

【お申し込み・お問合せ】	本 所 TEL:055-265-5182	八代地域事務所 TEL:055-265-2240
石和地域事務所 TEL:055-262-1267	御坂地域事務所 TEL:055-263-0848	一宮地域事務所 TEL:0553-47-2288
境川地域事務所 TEL:055-266-5911	春日居地域事務所 TEL:0553-26-3667	芦川地域事務所 TEL:055-298-2170

障がいのある人が 自立した生活を目指し 相談できるトコロ

笛吹社協が運営する、障害者地域活動支援センターの相談支援事業所「支援センターふえふき」では、「障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような様々な相談ができる」ところです。様々な相談内容に対応出来るよう、相談支援専門員や社会福祉士、精神保健福祉士が配置されています。
支援センターふえふきの相談支援には「一般相談支援(市からの委託)」「計画相談支援」の2種類があります。今回、Aさんの実例をもとに支援の内容を紹介します。

事例！ Aさんの相談を支援

1 相談



高齢の母親と2人で暮らしていた、精神障がいのAさん(50代)。ある日、急病で母親が入院してしまいました。突如、Aさんは一人暮らしをしなければならなくなりました。それまでは、食事も掃除も、様々な手続きも母親がしていました。Aさんは困ってしまいました。そこで、Aさんは支援センターふえふきに相談しました。Aさんの困りごとはなんでしょうか。

Aさんの困りごとを一緒に整理しました。

- 1 家事が出来ない。
- 2 お母さんが死んじゃったらどうしよう・・・
- 3 仕事、しなくちゃ。
- 4 なんだか分からないけど、不安だ。

一般相談支援(市からの委託)

このように生活全般に渡る相談や障がい福祉に関する様々な内容について、本人や家族からの相談に応じ、情報提供や助言を行います。また、市や障害福祉サービス事業所等の関係機関との連絡調整のほか、権利擁護に必要な援助のための相談を「障害者相談支援事業(一般相談)」と言います。



一般相談【職員紹介】



鈴木 勝利

一通りの専門資格をもつ、センター1のベテラン。一人一人を大切にしながら、温かいまなざしと時には厳しい声かけで複雑な相談にあたっています。水漏れの修理からDVD制作まで・・・何から何までこなす器用な兄貴分!!



浅川 花恵

今年入ったばかりの新入相談員「花」です。毎日、驚くことばかり。利用者と一緒に迷い、一緒に苦しみながら相談を受けています。障がいをお持ちの方との「一期一会」を大切に様々な問題に体当たりしています。

3 その後

結果

Aさんは寂しさを抱えつつも、何とか一人での生活を送ることが出来るようになりました。その後定期的なAさんの様子確認(モニタリング)。必要な場合は利用計画の見直しを行ったり、サービス事業所等と連絡調整を行っています。

現在

Aさん。なかなかパソコン技術が上達せず、苦労しています。一時は病気が進行し入院することにもなったのですが、適切な治療で退院ができて、以前と同じ生活に戻ることが出来ました。そこにも様々な支援者が間に入り調整しています。丁度良い距離感を保ちつつ、Aさんの地域での生活を一緒に考えていく。相談支援事業所は、こんなトコロなのです。

計画相談【職員紹介】



中村 美子

センターの和ませ担当!! 柔らかい雰囲気の母親的存在。「冷静な頭と暖かい心(cool head and warm heart)」でどんな相談も受けています。障がいを持っていても、唯一無二の人と接し、その人らしい生活が送れるように一緒に考えています。



雨宮 早緒理

「障がいのある人も主役になれる場を作りたい。」をモットーに地域を飛び回っています。小さい体に秘めたパワーは計り知れず。東京旅行・ボーリング大会・お祭り・・・皆の楽しみ場作りはおまかせあれ。

計画相談支援

このように、本人に適した「サービス等利用計画」を作成し、サービス利用出来るための支援を、「計画相談支援」と言います。障がい者の自立した生活を支え、本人の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより支援するものです。

2 支援

Aさんの困りごとにあったサービス等の利用計画の作成・支援をしました。

- 1 家事が出来ない。
↓ 家事援助を目的としたヘルパーさんに来てほしい。
 - 2 お母さんが死んじゃったらどうしよう・・・
↓ 様々な手続きや支払い、家計管理のお手伝いをしてほしい。
 - 3 仕事、しなくちゃ。
↓ 昔していたパソコンの仕事をもう一度トライするために、就労支援施設に通いパソコンの訓練をしたい。
 - 4 なんだか分からないけど、不安だ。
↓ 不安が高まると、また閉じこもりの生活になってしまうAさん。ご近所さんが声を掛けてくれるように調整しました。
- と言った各種サービスを受けるために、「サービス等利用計画」を作成しました。
これは、本人の希望に沿った生活を送れるようにするために、「働くための訓練はどのくらいなのか」「ヘルパーさんには何をどのくらい助けてもらえばいいのか」などサービスを必要に合わせて受給するための計画です。



やまなし
山梨ヤクルト
はんばいかぶしきがいしゃ
販売株式会社様
知識を活かして地域福祉に貢献
しています。

『健康で安心なまちづくりに貢献し、地域のみなさまを幸せにします』という企業理念のもと地域に密着し健康で楽しい生活づくりに取組んでおられ、笛吹市介護予防事業(やってみるじゃん)において、「健康講座」を開催していただいております。また「ふえふき地域見守りネットワーク」にもご協力いただいております。夏季には、宅配先約400軒に熱中症パンフを配布し、注意喚起をおこなって下さいました。



▶この地区でも「健康講座」は大人気です。



あい かわ あき お
相川昭夫様

精力的に市内全域で活動を行っています。

宮在住の相川昭夫様は、消費生活相談員として、消費生活について少しでも理解していただき、消費者トラブルを少なくしたいという正義感から笛吹市介護予防事業(やってみるじゃん)で活動されています。平成21年度から現在まで約200回、市内全域で活動されており、最近では、高齢者の詐欺防止、終活、人生の終わりのための活動について講話して下さり、地域での詐欺防止や高齢期における心構え等に大変役立っています。



▶身近な問題をみなさんに伝えてくれます。



さわ た や やっきょく
沢田屋薬局様

笛吹市介護予防事業『やってみるじゃん』に『健康講座』で協力しています。

石和町市部の沢田屋薬局さんは、平成24年度から、笛吹市介護予防事業『やってみるじゃん』で『正しい薬の飲み方講座』を、早川弘太専務と小野末子薬剤師とで行っていただいております。「健康のためには食事と運動と心のバランスが不可欠、介護予防教室のメニューは最適。」「薬とも上手に付き合い、いつまでも元気に過ごしてください。」と早川さん。小野さんの優しく丁寧なお話しに皆さん熱心に聞き入り充実した健康講座が開かれています。



▶皆さん薬に対する関心は高く真剣です。



こ ばやし み よし
小林美好様

笛吹市介護予防事業『やってみるじゃん』を支援しています。

小林美好さんは、石和町東高橋地区の笛吹市介護予防事業『やってみるじゃん』が、老人クラブの解散で休止となり、教室を楽しみにしていた高齢者の皆さんが残念がっている声を聴き、平成22年「私で良ければお手伝いしましょう」と名乗り出いただき、今では大勢の参加者で楽しい教室が開かれています。「『やってみるじゃん』は地域の高齢者の「ひきこもり防止や認知予防のために有効」と小林さん。毎月楽しい集いが開かれています。



▶小林さんの周りには笑いが絶えません。



なかやまさちこ
中山幸子様
 なかやま やそし
・中山八十司様

ご夫婦そろって“支える”
 活動を行っています。

中山幸子様は、高齢者への見守りや買い物のお手伝いを長く続けられ、その方に寄り添った支援を行っています。また、地区のサロン活動へボランティアとしての参加やNPO法人子育てサポートふえふきでの子育て支援をはじめ、DV被害者の支援、生活困窮者への炊き出し支援など、幅広く多くの方を支える活動をされています。また、ご主人である中山八十司様も、現在、NPO法人やまなしライフサポート理事長を務められ、県域の路上生活者や生活困窮者の自立支援を行っています。週に1度の炊き出しや、ふれあいサロンを開催し、困りごとの相談やくつろげる場所の提供、炊き出しに来られない方へは弁当を配るなど、さまざまな実践活動をされています。



▶地域の方のお宅
 で障子の張り替え
 を一緒に行ってい
 ます。



ふえふき
笛吹
ローズクラブ様

笛吹社協の福祉教育にも協力し
 ています。

笛吹ローズクラブは「市の花であるバラへの愛情を深めバラによる素晴らしい景観づくりをすすめる」ボランティア団体で、石和温泉駅前広場を拠点に活動しています。「活動を通してバラの魅力を知ってもらいバラから『なにか』を見つけ財産にしてほしい」と小松孝一郎会長。平成24年からは、剪定等の協働作業を通じて笛吹市社会福祉協議会の福祉教育にもご協力いただいております。「やさしく教えてもらい楽しかった。自分たちも人のためになることを見つけない。」と。子どもさんのボランティアの芽も育てていただいております。



▶子どもたちの楽
 しい園芸体験。

平成27年度 介護予防事業(やってみるじゃん)協力員養成講座

介護予防事業(やってみるじゃん)は、各地域の公民館活動へ広がってきました。これからは自主的な活動につながる取り組みをしていきます。そこで、運営に携わる協力員の方の講座を開催いたします。

《日程・内容》

①講義・実技：介護予防に関すること

1日目：平成28年2月23日(火)
 9：00～16：00

2日目：平成28年3月15日(火)
 9：30～11：30

②実習：各地域開催(やってみるじゃん)現場実習

2日間：平成28年2月下旬～3月上旬

《受付期間》平成28年2月16日(火)まで

《定員》笛吹市内在住15名

《参加費》無料

《場所》八代福祉センター

《お問合せ》

笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課 本所(八代)
 055-265-5182



善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

※順不同になります。～12月

英雅堂 志村忠良様 [石和]
 ▶ 20,000円

ホテル千石ゴルフコンペ様 [石和]
 ▶ 14,000円

清水佳隆様・清水あい様 [御坂]
 ▶ 30,000円

御坂町体育協会ゴルフ部様 [御坂]
 ▶ 25,510円

御坂体協ゲートボール部様 [御坂]
 ▶ もち米 25kg

早河正弘様 [一宮] ▶ 100,000円

山田誠吾様 [一宮] ▶ 50,000円

風間一美様 [一宮] ▶ 20,000円

絆の会様 [一宮] ▶ 19,000円

匿名希望様 [一宮] ▶ 40,333円

笛吹市ゴルフ連盟一宮支部様 [一宮]
 ▶ ラミネーター1台、ペーパーカッター1台
 カラープリンター1台、郵便ポスト1基

八代仏教会様 [八代] ▶ 300,000円

雨宮隆様 [八代] ▶ 100,000円

八代町老人クラブ連合会
 ・八代町身体障害者福祉会様 [八代]
 ▶ 42,400円

八代地区更生保護女性会様 [八代]
 ▶ 10,000円

マックスバリュ東海株式会社様 [静岡県]
 ▶ 車椅子1台

でばん会様 [春日居]
 ▶ ヘルスメーター2台

「ふえふき通信」

「障害者地域活動支援センター」

新人パパママ集まれ！

「ゆうゆうゆうはあとレポート」

新ト 花と慶 レポート



今回、私たち障害者地域活動支援センターと子育て支援をうけるNPO法人HappySpace(ゆうゆうゆう)と共同で行った「ゆうゆうゆうはあと」の活動についてレポートします！！

「ゆうゆうゆうはあと」の活動内容は、1～3歳までのダウン症のお子さんをもつ親子が集まり、子どもの創作活動に加えて、親同士のピアカウンセリングや情報交換をすることを目的に毎月1回活動をしています。「ピア」とは仲間という意味合いがあります。仲間だからこそ話せるといって、共有できる想いを大切にしながら空間作りをしています。スタッフの雨宮さんは自身が中学生のダウン症のお子さんを育てているお母さんであり、他のお母さん達の不安な気持ちに共感し、「アドバイザー」としての役割も果たしています。

お母さん・お父さんたちにとって「ゆうゆうゆうはあと」は、困っていること・不安なことを共有したり、経験談を語り合うことで、癒しの空間であったり、お互いを認め合う場にもなっています。

スタッフからのコメント

地域にハンディのある子どもたちが集える場所があってもいいんじゃないかなという思いから始まった「ゆうゆうゆうはあと」も今年で2年目になります。県全体で行っている大きなサークルもあるけれど、その前段階としてまずここにきてもらって、いろんな情報提供をしながら、様々なサークルやサービスなどに繋いでいけたら良いなと思っています。親子どちらも自分を出し、何でも話せる居心地の良い場所づくりを目指して楽しく活動しています！ダウン症のお子さんをもつお母さん・お父さんの参加お待ちしておりますので、お気軽にお問い合わせください。



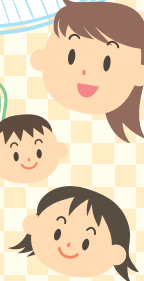
参加しているお母さんたちの声

たまたまチラシを見て参加してみました。月齢児のサークルでは他の子どもと同じことができず、参加しにくい部分があったけど、ここは同じハンディを持った子ばかりなのですぐに馴染むことができました。



子育て支援センターの集まりだと迷惑かかるかもしれないという気持ちから子どもに制限をかけてしまい、常に気を張っていなければいけなかったけど、ここでは自分も子どももリラックスできて、楽しく参加できています。

いろんな人と関わることができて、子育ての情報がたくさん入ってくるため、ためになることが多いな～と思います。



お問合せ ゆうゆうゆう TEL 055-261-0218



お楽しみのスペースも、たくさんさんのボランティアさん達の力は大きいです。会場では、どんどこ太鼓(障がい者太鼓)が威勢よく鳴り響き、障がい児施設「ありがとう」の歌声や「ふえふきデイケア」のハンドベルの音が皆の注目を集めました。お腹いっぱい食べ、楽しみ、片付けも皆で協力して、地域の皆さんと作り、交流できた餅つき大会は盛況で終了しました。



鏡餅作りは子どもに大人気で、皆でクルクル、輪投げやグラントゴルフができる

12月25日クリスマス。八代福祉センターの駐車場は400人で大賑わいです。子どもから大人まで、障がいがある人もない人も、垣根なく、たくさんの方の皆さんが集まって交流会が行なわれました。用意したもち米はなんと60kg。こんなに食べられるのかな...とドキドキです。さあ、いよいよ餅つきのはじまりです。子どもも一緒に重い杵を振り上げてどっこいしょ！用意したもち米は、次々と美味いあんこ餅やお雑煮になって、皆のお腹の中へ...



みんなでわいわい八代交流会 餅つきや歌で大盛況



障がい者ボウリング大会

スポーツを通じて、障がい者同士の交流を深めませんか？
日時 平成28年2月7日(日)午後1時～午後3時30分
場所 ラウンドワン石和店
参加者 市内障がい児・市内障がい児施設利用者
参加費 350円 定員 50名(定員になり次第、締め切ります)
申し込み、問い合わせ 支援センターふえふき TEL055-263-1777